

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

安全・安心な公共事業の一翼を担う企業として、発注者や施工業者など全てのステークホルダーの満足度・利益の最大化を推進するとともに、健全で透明性の高い経営を実現することによって地域社会を始め社会全体の「持続可能なインフラ整備」に貢献できる企業を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	自社のエネルギー使用量の把握及び削減	エネルギー使用量 2023年54t→2026年43t
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	地域への貢献度の強化	地域の清掃・除草 2023年4回→2026年6回
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	性別・年齢を問わない採用の実施	採用の人数 2023年1人→2026年3人

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)**更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

大規模な災害時には、インフラの短期的・集中的な復旧整備が求められるため、行政サイドの要求に応じて同業他社との連携強化を図ることが重要であると認識し、日頃から連携を取っている。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	自社のエネルギー使用量の把握及び削減	エネルギー使用量を把握したうえで3年後に30%削減
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	業績の伸びに伴いガソリン使用の節約が困難であり、エネルギー削減は達成出来なかった。	2020年56t→2023年54t(CO ₂ 換算、3.6%削減)
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	地域への貢献度の強化	地域の清掃・除草 2020年3回→2023年6回
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	本社周辺、社員駐車場周辺の公道において除草・清掃を実施したが、災害復旧業務等で人員が揃わず回数未達成となった。	2023年4回
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	公的技術資格者の育成・増加	RCCM:2020年8名→2023年12名
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	この3年間で、RCCM合格者4名は指標どおりであり、他に、技術士第一次試験合格者1名、農業用ため池管理保全技士合格者2名で目標を達成した。	2021年3名、2022年3名、2023年1名・計7名

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。